



列車無線システム等との共用検討の進め方について

2014.9.8

ブロードバンドワイヤレスフォーラム

WPTシステム毎の検討方針について

(1) 電気自動車用WPT

- ・試験等も含めた検討が必要
 - ⇒ 2014年10月以降も審議継続の必要有（半年程度の延長が必要）
- ・検討課題は、以下の通り。
 - ①机上検討の精査および離隔距離の再検討
 - ②試験による列車無線システム等への影響の検証

(2) 家電機器用WPT②

- ・現状では共用不可能。
- ・WPTシステム側の仕様等を再検討（国際協調を考慮した利用周波数の絞り込み等）した上で、改めて制度化検討をお願いする。
 - ⇒ 検討の結果、現状では共用不可能

(3) 家電機器用WPT③

- ・残っている課題は、列車内でWPT利用時の信号保安設備（ATS）への影響検討のみ。
 - ⇒ 再検討の結果、共用可能に（別資料）

電気自動車用WPTにおける検討課題

①机上検討の精査および離隔距離の再検討

◆標準規格化議論の進展により明確化されたWPTシステムを反映した机上検討の実施。

- ・利用周波数: 79~90kHz
- ・コイル方式: 平面円形型
- ・送電電力: 最大7kWクラス
- ・コイル位置ずれ等の利用条件を考慮

◆離隔距離の解析方法についての精査。

◆試験での検証を想定したレベルまで机上検討の精度を上げる。

②試験による列車無線システム等への影響の検証

◆試験用のWPTシステムを2015年1月頃までに開発予定。

◆その後、列車無線システム等への影響評価の試験を実施(特に信号保安設備を中心に実施)。

共用検討スケジュール

